



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番6号 コンセーレ (栃木県青年会館)  
CONCERE 1-1-6 KOMANYU UTSUNOMIYA CITY TOCHIGI JAPAN 320-0066

(2016~2017) ROTARY CLUB OF UTSUNOMIYA SATSUKI

TEL 028-624-1417 FAX 028-624-1843 URL <http://www.facebook.com/satsukiRC>

## 宇都宮さつきロータリークラブ 会報

### 第 104 回 例 会

日 時 : 2016年11月21日 (月)

19:00~20:00

会 場 : コンセーレ中会議室

・開会 秋山 幹雄 SAA

・点鐘 石川 均 会長

・ロータリーソング (奉仕の理想) 斉唱

・ビジター紹介 石川 均 会長

- ・宇都宮陽北ロータリークラブ 宇都宮さつきロータリークラブ特別代表 佐藤 節様
- ・卓話者 ロータリー財団学友会 副会長 渡邊恵三子様
- ・フレンズ 小松和美様

・会長挨拶 石川 均 会長

皆さまこんばんは。

昨日は栃木県知事選挙、宇都宮市長選挙が行なわれ、会員の皆様の中には支持する候補者の応援で大変忙しい一週間を過ごされたかと思えます。結果はすでに報道の通りであります。知事、市長におかれましては、更に地方創生・地域発展の原動力となりしっかりと県政、市政を運営いただくことを心より願っております。

さて、天候の話題ですが、23日深夜から24日にかけて関東平野部でも初雪の可能性があるようです。都心で11月に雪が降れば54年ぶり、宇都宮で降れば30年ぶりだそうです。北海道上空には過去最強クラスの寒気が入り込み、その一部が関東まで南下するようです。24日(木)の朝方は路面の凍結などがおこりがちですので、特に通勤時間帯の移動は十分お気をつけ下さい。私も本日慌てて冬用タイヤに交換してまいりました。

本日は財団100周年記念事業第三弾といたしまして、ロータリー財団学友副会長の渡邊恵三子様に卓話をお願いしております。渡邊様におかれましてはお忙しい中、卓話をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございます。どのようなお話が聞けるか会員一同楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。

報告事項ですが、本日15時に社会奉仕委員会の葆東委員長と皆さまからご協力いただいたエコキャップを壬生町にあります協栄産業株式会社栃木工場に届けてまいりました。詳細は後日、葆東委員長からご報告いただきますが、担当された方の話では「70~80kgはあるかな?」との事でした。ご協力ありがとうございました。

また、12月に入るとすぐにクラブ年次総会となります。次年度役員人事等の重要事項の取決め必要となりますので、重ねてご協力をお願いいたします。

それでは今日も「好意と友情」を深めてまいりましょう。



エルディムさんへの奨学金授与



・ 幹事報告 齊藤 昇吾 幹事

1. アトランタ国際大会登録

登録料については、下記ようになります。

ロータリーレートは、2016年11月の1ドル=102円、12月の1ドル=106円。

	2016年12月15日(木)まで	2017年3月31日(金)まで	2017年4月1日(土)以降
ロータリアン及び配偶者	US340\$	US415\$	US490\$

登録のキャンセルには、50米ドルの手数料がかかります。

2. 本日の連絡

- ・ 2016～2017年度は、ロータリー財団100周年。
- ・ 11月はロータリー財団月間であり3人卓話をする。  
 第102回例会 ロータリー財団学友委員会 長谷川孝委員長  
 第103回例会 第2820地区ロータリー財団学友会 潮田武彦会長  
 第104回例会 ロータリー財団学友会 渡邊恵三子副会長

3. 第105回例会 11月27日(日) シテ・オーベルジュ

- ・ ロータリー財団100周年  
 宇都宮さつきロータリークラブ第105回例会並びに  
 ロータリー財団学友会第39回総会  
 15時 ロータリー財団学友会会員集合  
 15時10分 ロータリー財団学友会第39回総会  
 15時50分宇都宮さつきロータリークラブ会員集合  
 16時 宇都宮さつきロータリークラブ第105回例会開会  
 16時20分ロータリー財団学友会会員による報告会  
 18時 写真撮影  
 18時20分交流会

4. 11月28日(月)は、振替休会。



5. 第106回例会 12月5日(月)

・クラブ年次総会

・2016年12月理事会

・委員会報告

各委員会

親睦活動委員会 吉川 泰行

クリスマス家族会のご案内 12月19日(月) 場所は下野農園。ロータリー学友会との合同例会での参加者の会費をクリスマス家族会でクリスマス家族会の会費と併せて徴収させていただきますのでよろしくお願いいたします。

・出席報告

出席委員

本日11月21日 会員総数24名 出席13名 出席率54.2% 暫定

2週間前11月7日 会員総数24名 出席18名 出席率75.0% 確定

・スマイル報告

スマイルボックス担当

・佐藤 節 特別代表(宇都宮陽北RC) 財団100年事業に活用してください。\$500。エコキャップ280ヶ持参しました。

・石川 均(宇都宮さつきRC) ロータリー財団学友会渡邊副会長、本日の卓話よろしくお願いいたします。

・齊藤 昇吾(宇都宮さつきRC) 渡邊恵三子さん国際親善奨学生としてインドネシアのスラバヤ国立大学院に留学した卓話を楽しみにしております。今後もロータリー財団副会長としての活躍を期待しております。

・卓話

ロータリー財団学友会副会長 渡邊 恵三子様

「えみちゃん、ロータリーの国際親善奨学生の試験受けてみたら？」

大学3年生の後期、まさに就職活動を始めた時のことでした。大学でインドネシア語を専攻し、短期留学も経験し、インドネシアの人、文化、空気、雰囲気のとりになりました。もっともっとインドネシアについて勉強がしたいと思っておりましたが、いつの間にか大学生活も終わりに差し掛かり、ああ、これでインドネシアに関わるのも終わりか、現実を見なければ、と寂しい思いをしていたところ、親戚に国際親善奨学生について勧められました。それがロータリークラブの国際親善奨学生制度を知るきっかけとなり、また私の人生の大きな転機となりました。

その後、大学4年生の夏に試験に合格し、インドネシアの某私立大学大学院に入学を決めました。

2010年の3月に日本の大学を卒業するので、予定ではあちらの大学院側の入学式に合わせて同年の7月にはインドネシアへ出発する予定でした。インドネシアでは何事もスムーズに進まないのが常であるということを知っていたので、かなり早い段階から学生ビザの取得に取り組んでまいりました。

しかしながら、在日インドネシア大使館では事前に電話までしてビザ取得のためにどのような書類が必要かということを確認し、用意したのにも関わらずいざ提出してみると、「あの書類が足りない、この書類が足りない」と何度も突き返され、幾度となく実家がある宇都宮と在日インドネシア大使館がある東京を往復しました。また、インドネシアの大学院側に何度頼んでも学生ビザに必要な入学許可書を送ってくれず、メールをしても返信がなく、電話をしてみると「あーはい、はい。明日送りますから」と言われ結局その留学許可書が届いたのは、はじめにこちらが頼んでから3ヶ月後のことでした。在インドネシア高等教育機関でもなかなか学生ビザの許可を出してくれず、それまでビザの申請を友人に頼んでいましたが、これでは埒が明かないと思い、留学前に一度ジャカルタの高等教育

機関を訪ねました。友人の助けもあり、ビザを取得しインドネシアに出発できたのが2010年の12月のことでした。

インドネシアに到着し、住まい探しも友人たちやインドネシアのロータリアンに助けをもらい、やっとのことで安心して勉強ができると思ったのも束の間。外国人がインドネシアに住むには外国人許可書が必要なのですが、入国してから何日かまでの間取ることを義務付けられています。それを大学のスタッフに頼めば「今忙しいから明日ね」と言われ、それが何日も続いたので、大学側に書類を作成してもらい、自分でイミグレーションに足を運び、手続きをしました。

それ以外にも1学期中、大学の先生が授業に来ないせいで、単位を落とされたりと、さすがに1学期を過ぎた辺りからこれではまずいと思い、インドネシアのロータリアンに相談し、インドネシアスラバヤ国立大学院に入学をしなければならぬとしました。私立大学から国立大学への移動ということで、単位の変換は認められず、また一からのスタートとなりました。そこでもインドネシアならではの様々なことがありましたが、幸運にもそこでは多くの友人や先生方に支えられながら、2年ちょうどで大学院を修了することができました。私の多くのクラスメイトがまだ試験に合格していない状態だったため、大学の教授は「さすが日本人は違う」とおっしゃってくださいました。

修士論文の試験は5人の教授の前で3回のプレゼンテーションを行い、それぞれの教授から合格のサインが無いと、試験をパスすることができません。最終試験をパスした時、今までに無い達成感を味わうことができ、またこれまでの道のりが走馬灯のように蘇り、自分の分厚い修士論文を見ながら涙したことを今でも覚えています。

当初の予定よりも長いインドネシア留学となってしまいました。何度諦めて日本に帰って仕事を探したほうが良いと思ったか、また周りにそのように言われたことか。でも自分は自分の意思でどんな環境でも周りに惑わされること無く、やり遂げることができたんだという大きな自信が生まれました。また何故私が諦めず、やり遂げることができたのか、それは紛れもなく私の周りの人たちの存在のおかげでした。インドネシア留学を快諾してくれた両親、どんな時も親身になってくださった宇都宮東ロータリークラブカウンセラーの辻さん、いつも私を応援してくださる日本とインドネシアのロータリアン、第2550地区ロータリー財団学友会の皆様、本当に心から感謝しております。

現在私はインドネシアに進出を検討している製薬会社で働いております。うまくいかない時、困難に直面した時は国際親善奨学生としてのインドネシアでの3年間を思い出します。私のあの3年間は確実に私の人生の糧となりました。

現在も尚、インドネシアのロータリアンたちとの交流は続いております。3年間で彼らは本当の家族のような存在となりました。今後、ロータリー財団学友会の活動でも、仕事でも大好きなインドネシアと日本の架け橋になれるよう努めて参りたいと思います。

本当にありがとうございました。





・点鐘

石川 均 会長

・閉会

秋山 幹雄 SAA